



TITLE:

標準天文用語表(20)

AUTHOR(S):

CITATION:

標準天文用語表(20). 天界 1943, 23(268): 328-329

ISSUE DATE:

1943-10-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168664>

RIGHT:

標準天文

番號	英語	獨語	支那語	邦語
1671	Meridian photometer	das Meridianphotometer	中星光度計	子午線光度計
1672	Microphotometer	das Mikrophotometer	測微光度計	測微光度計
1673	Physical photometer	physikalishces P.	—	物理光度計
1674	Photoelectric photometer	photoelektrisches P.	光電光度計	光電光度計
1675	Photographic photometer	photographisches P.	攝影光度計	寫真光度計
1676	Polarizing photometer	das Polarisations-photometer	偏化光度計	偏光光度計
1677	Prismatic photometer	prismatisches P.	稜鏡光度計	プリズム光度計
1678	Selenium photometer	das Selenphotometer	硒光度儀	セレンウム光度計
1679	Wedge photometer	das Keilphotometer	劈狀光度計	楔型光度計
1680	Visual photometer	visuelles P.	目視光度計	眼視光度計
1681	Photometry	die Photometrie	光度學	測光學, 測光術
1682	Instrumental photometry	die Instrumentalphotometrie	—	器械測光術
1683	Photoelectric photometry	photoelektrische P.	光電光度學	光電測光術
1684	Photographic photometry	photographische P.	照相光度學	寫真測光術
1685	Physical photometry	physikalische P.	—	物理測光術
1686	Thermoelectric photometry	thermoelektrische P.	—	熱電測光術
1687	Visual photometry	visuelle P.	目視光度學	眼視測光術
1688	Photo-visual photometry	photo-visuelle P.	仿視光度學	寫眼測光術
1689	Photosphere	die Photosphäre	光球	光球
1690	Stellar photosphere	die Stellarphotosphäre	恒星光球	恒星光球
1691	Sun's photosphere	die Sonnenphotosphäre	太陽光球	太陽光球
1692	Pivot	der Zapfen	—	ピボット
1693	Plan	der Plan, Entwurf	—	計畫
1694	Plan of Selected Areas	der Plan der ausgewählten Felder	—	特撰天空計畫
1695	Plane	die Ebene	天球切面	平面
1696	Ecliptic plane	die Ekliptikebebne	—	黃道面
1697	Equatorial plane	äquatoriale E.	—	赤道面
1698	Fundamental plane	die Fundamentalebene	—	基本面
1699	Galactic plane	galaktische E.	銀道面	銀河面
1700	Horizontal plane	horizontale E.	—	地平面

既刊分の補遺

天界	頁	英語	邦語
239	146	Preliminary adjustment	豫備調整
	"	Final adjustment	最終調整
	"	Aerolite	鐵隕石
	"	Preliminary analysis	豫備解析
	148	Blend	混交
	149	Character-figure	指示數
	152	Component	分力, 分値
	"	Bright component	輝體
	"	Dark component	暗體
	"	Northern component	北分體
	"	Orthogonal component	直角分力

用語表 (20)

- | 番號 | 説 明 |
|------|--|
| 1671 | 前世紀末ビケリングが發明した光度計、北極星と他星とを比較測定する眼視器械。 |
| 1672 | 光輝の微細な量を測る。寫眞像を測るのが普通で、種々の物理器械應用のもの。 |
| 1673 | 近代物理學的器械を應用したもの。セレンウム、光電管等の感光性を用ゐる。 |
| 1674 | 光電管の鋭敏な感光性を利用する光度計で、短週期變星の觀測や室内に用ゐる。 |
| 1675 | 寫眞乾板上の星像を測つて光度を知るもの。星像の大きさや濃度を測る方法がある。 |
| 1676 | 二つのニコル・プリズムの相互回轉により偏光の原理を利用するもの。 |
| 1677 | プリズムによる全反射を利用して2星の像を比較し測定する方法。 |
| 1678 | セレンウムが感光して電氣抵抗を減ずる理を利用するもの。 |
| 1679 | 光路中に楔形の吸收體を置いて比較星の光度を調節し、光度測定を行ふもの。 |
| 1680 | 眼視の方法による光度測定方法で、寫眞法や物理法に對するもの。 |
| 1681 | 天體や一般光源の光輝の強さを測る技術。第19世紀初から學的に漸次發達した。 |
| 1682 | 眼のみに依らず、何等かの器械裝置を應用した光度計。 |
| 1683 | 光電現象の應用により之を器械に裝置し、多くは望遠鏡の接眼部に光電管を附す。 |
| 1684 | 前世紀末、ケ1ブ寫眞調査にギル・カプティン兩氏が始め、其後種々改良進歩あり。 |
| 1685 | 測光學は皆物理學の應用であるが特にセレンウムや光電管の應用によるものを云ふ。 |
| 1686 | 熱電氣學的原理を應用し、多くは測微光度計として發達し、スペクトル研究に用ふ。 |
| 1687 | 純粹な肉眼による測定から望遠鏡による眼視觀測に至るまで凡て眼の感光度に頼る。 |
| 1688 | 眼に感じる光線を寫眞的に撮影して測光學に應用するもの。寫眞術よりも感光惡し。 |
| 1689 | 天體表面にて白色の自發光を出すガス層。此の層は不透明で、其の内部を見せない。 |
| 1690 | 恒星の光球。恒星の光の主要部は此の球面から發し、光學的に恒星を代表するもの。 |
| 1691 | 吾人の眼に最も強く見える太陽面。凡ゆるガスを含み、溫度約6千度。逆層に包まる。 |
| 1692 | 器械の廻轉に際し軸受けの上に乗る部分。圓筒形が理想的だが、微細な誤差もある。 |
| 1693 | 研究上の計畫や設計。 |
| 1694 | 宇宙の構造を研究するためカプティンが1906年に計畫し、諸所で今尙進捗中のもの。 |
| 1695 | 宇宙の幾何學的考察のため、いろんな平面が規定される。下を見よ。 |
| 1696 | 黃道を載せてゐる平面。赤道面と $23^{\circ}27'$ だけ傾いてゐる。遊星攝動のため微動する。 |
| 1697 | 地球の赤道を一平面と考へたもの。太陽や各遊星にも同様な赤道面が考へられる。 |
| 1698 | 太陽系研究のためには黃道面又は不變平面、宇宙研究には銀河面の如きもの。 |
| 1699 | 銀河は略々一平面上にあるが、特に其の中心線を貫く理想的平面を標準的に考へる。 |
| 1700 | 嚴密な地平面は假想のものである。海の水平線は天文學的な地平面を表はさない。 |

既刊分の補遺

天界	頁	英 語	邦 語
239	152	Tangential component	切 線 分 力
	"	Upper component	上 向 分 力
	"	Massive construction	大 質 量 構 成
	"	Heavy construction	重 量 構 成
240	179	Dead reckoning	航 位 推 測 法
242	260	Escapement	脱 進 機
	"	Estimation	見 積 も り
	"	Rough estimation	概略の見積もり
	"	Visual estimation	眼 分 量
248	65	Prismatic inequality	プ リ ズ ム 差